過去問解説シリーズ

H21年度
事例Ⅳ

全体難易度　★★★☆☆

事例Ⅳマスターガイド
中小企業診断士2次試験攻略チャンネル

解答例	(a)	(b)	(c)
①	自己資本比率 (短所)	25.56%	本社社屋や周辺不動産の買い増しで長期借入金への依存が多く、利払い費の負担が増え繰越利益剰余金も積み上げできていないため。(60字)
②	売上高総利益率 (長所)	25.08%	高品質・高機能な高い加工技術力で有名ブランドのY社や消費者から支持されている。自社ブランドも展開し付加価値が高いため。(59字)
③	有形固定資産回転率 (短所)	2.62回	中核都市の駅前に本社を構え、国内の自社工場のみで生産しているため有形固定資産が売上に対して過剰になっているため。(56字)
①別解	負債比率	291.26%	ー

出題の趣旨　第1問(配点40点)
D社の財務諸表と同業同規模の健全企業の財務諸表が与えられた場合、財務指標からD社の問題点を発見する経営分析能力を問う問題である。

事例Ⅳマスターガイド
中小企業診断士2次試験攻略チャンネル

設問1

▲0.19%

設問2

負債の返済によって負債比率が291%から151%に低下する。資本構造の変化により財務レバレッジも下がったことで、総資本営業利益率を一定とした場合は、税引前自己資本利益率のバラつきが抑えられリスクに強くなる。(99字)

出題の趣旨　第2問(配点20点)

(設問1)

今期の総資本営業利益率に不確実性が存在する場合、その影響によって税引前自己資本利益率の期待値がどの程度になるかを計算し、財務レバレッジについて分析する能力を問う問題である。

(設問2)

負債の返済によって負債比率を低下させた場合に、財務リスクがどのように変化するかを分析し、その効果を分析する能力を問う問題である。

事例Ⅳマスターガイド
中小企業診断士2次試験攻略チャンネル

設問1

a	5,105（百万円）	b	▲330（百万円）

設問2

a	4,472（百万円）	b	本社を売却したことで利払い費を含めた固定費が削減され、営業レバレッジが11.09から4.93に低下する。そのことで売上が20%下がっても辛うじて損益分岐点売上高を下回らない収益構造にすることができる。(92字)

出題の趣旨　第3問(配点20点)

(設問1)

売上高の減少が利益にどのような影響を与えるかについて、営業リスクの分析能力を問う問題である。

(設問2)

問題文中の環境の下、仮に売上高が減少した場合でも利益をあげられるように、どのような経営改善策を提案すべきか、特に営業レバレッジの視点から分析・提案する能力を問う問題である。

事例Ⅳマスターガイド
中小企業診断士2次試験攻略チャンネル

設問1

▲140万円

設問2

a	円高のリスクに備えてヨーロピアンタイプの米ドルプット/円コール・オプションを購入する。(43字)
b	長所は権利の行使をするかどうか選択できること。円高時は100円でドルを売る権利を行使し、円安時は売る権利を放棄して市場でドルを売り為替差益を得ることもできる。短所はオプション購入に手数料がかかること。(98字)

出題の趣旨　第4問(配点20点)

(設問1)

問題文にあるD社の経営状況で、外貨建て売上高の為替リスクについて分析する能力を問う問題である。

(設問2)

外貨建て売上高の変動を前提として、為替リスクをどのように管理するか、その方策について提案する能力を問う問題である。

事例Ⅳマスターガイド
中小企業診断士2次試験攻略チャンネル

EXTRA Question

簿価7億円の本社を売却すると

18億円の税引後キャッシュが得られた

では本社はいくらの値がついたのでしょうか？

税率40%として計算せよ。（億円以下を四捨五入）

売価をX（億円）とする。
売却益（特別利益）　：　X－7
特別利益にかかる税：　(X-7)×0.4

投資CIF(入るお金) ＝X
税調整分の営業COF（出るお金)＝ (X-7)×0.4
最終的に得られるお金＝18

X－(X－7)×0.4＝18
X－0.4X＋2.8＝18

X=25.333…　　**25億円**

7億円の税金ぇ…